

第1章 喫茶のはじまり	7
01 「チャ」と「ティー」	8
02 中国唐・宋代の茶	10
第1章余話 中国と日本の「白い茶」	12
第2章 平安時代	17
03 平安時代の喫茶	18
04 唐物の輸入と広がり	20
05 「仮名」の登場	22
06 和歌と歌銘	24
第2章余話 古筆と茶の湯	26
第3章 鎌倉時代	31
07 栄西と禅院茶礼	32
08 寺社造営料船	34
09 闘茶の時代	36
第3章余話 時代をつなぐ「闘茶」	38
第4章 室町時代	43
10 宇治七園	44
11 足利義満	46

12 会所と唐物	48
13 東山御物と同朋衆	50
14 東山文化	52
15 一服一銭	54
16 珠光	56
第4章余話 京都・愛宕山の茶壺蔵	58

第5章 織豊政権期	63
17 武野紹鷗	64
18 織田信長①	66
19 織田信長②	68
20 堺の商人と茶頭(今井宗久、津田宗及)	70
21 博多の商人(島井宗室、神屋宗湛)	72
22 豊臣秀吉①	74
23 豊臣秀吉②	76
24 千利休①—経歴	78
25 千利休②—禅	80
26 千利休③—茶道具	82
27 利休時代の茶道具	84
28 利休七哲①(蒲生氏郷、高山右近)	86
29 利休七哲② (細川三斎、芝山監物、瀬田掃部、牧村兵部、古田織部)	88
30 少庵と道安	90
31 新しい茶陶①(唐津焼、薩摩焼)	92
32 新しい茶陶②(小倉焼、萩焼)	94

第6章 江戸時代1 ..... 97

- 33 徳川家康と御茶壺行列 98
- 34 古田織部① 100
- 35 古田織部② 102
- 36 海外貿易とやきもの① 104
- 37 海外貿易とやきもの② 106
- 38 寛永期の文化人① (本阿弥光悦) 108
- 39 寛永期の文化人②  
(松花堂昭乗、安楽庵策伝) 110
- 40 金森宗和と御室焼仁清 112
- 41 小堀遠州 114
- 42 公家の離宮造営ブーム 116
- 43 公家の茶の湯① (近衛家) 118
- 44 公家の茶の湯② (吉田兼見、日野資勝) 120
- 45 乾山窯 122
- 第6章余話 公家のやきもの 124

第7章 江戸時代2 ..... 129

- 46 千宗旦 130
- 47 少庵と宗旦の茶室 132
- 48 江岑宗左-表千家 134
- 49 仙叟宗室-裏千家 136
- 50 一翁宗守-武者小路千家 138
- 51 千宗旦の高弟たち① (山田宗徧、杉木普斎) 140

- 52 千宗旦の高弟たち② (三宅亡羊、藤村庸軒) 142

- 53 江戸前期の禅僧と茶の湯 144

- 54 後西天皇と近衛家熙 146

- 55 片桐石州 148

- 56 大名と茶の湯① (加賀前田家) 150

- 57 大名と茶の湯② (伊達綱村) 152

- 58 元禄の出版ブーム 154

- 第7章余話 『南方録』 156

第8章 江戸時代3 ..... 161

- 59 千家十職 162

- 60 茶道人口の増加と七事式 164

- 61 女性と茶の湯 166

- 62 松平不昧 168

- 63 江戸と上方の豪商たち 170

- 64 井伊直弼と『茶湯一会集』 172

- 65 近代茶道への道 (玄々斎精中) 174

- 第8章余話 千家名物 176

第9章 明治・大正・昭和時代 ..... 181

- 66 寺子屋教育と茶道の再生 182

- 67 学校茶道のはじまり 184

- 68 近代の数寄者①-井上世外 186

- 69 近代の数寄者②-平瀬露香 188

- 70 近代の数寄者③-益田鈍翁 190

71	数寄者と美術館①—藤田香雪	192
72	数寄者と美術館②—住友春翠	194
73	数寄者と美術館③—根津青山	196
74	数寄者と美術館④—五島慶太	198
75	大規模茶会と機関誌	200
	第9章余話 近代数寄者の茶とは	202

付録	関連年表	208
	関連用語集	220
	索引	234



# 第1章 喫茶のはじまり